

平成18年 9月 定例会（第3回） - 09月12日 - 03号 - P.67

◎市民生活部長（上田俊憲君） お答えをいたします。

白山市の地域防災計画につきましては、本年4月の防災会議におきまして策定いたしましたところございまして、災害時における救済活動のもととなる災害協定の締結促進や備蓄品の備蓄、また自主防災組織の結成促進など、計画に沿って事務・事業を進めているところでございます。

なお、防災マップの作成につきましては、市民の災害に対する身近なマニュアルとして、水害や地震など災害に対する防災知識や避難場所及び避難の妨げとなる災害危険箇所並びに主要医療機関などを記載するものでございまして、現在、関係各課及び各支所の防災担当職員と調整を行っておりまして、今後関係機関とも協議し、今年度内をめどに作成すべく事務を進めているところでございます。

なお、作成後は市内全世帯へ配布いたしまして、市民の防災意識の高揚に努めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

平成18年 9月 定例会（第3回） - 09月12日 - 03号 - P.67

◎建設部長（浜野健君） 小川議員にお答えいたします。

洪水ハザードマップは、河川管理者である国及び県の作成する浸水想定区域図に避難場所等の情報を示し、住民の皆様にはわかりやすく提供することにより、洪水による被害を最小限にとどめることを目的とするものであります。

県内では、直轄管理の手取川、梯川の2河川が洪水予報河川として、また県管理の18河川が水位情報周知河川として指定され、順次、浸水想定区域図の公表が行われております。

指定された河川のうち、市内を流れる河川は手取川、高橋川、安原川の3河川ですが、手取川につきましては、国の補助を受け、本年度中に原案をまとめ、来年度には市民の皆様へ配布する予定で作業を進めております。

高橋川及び安原川につきましては、石川県が今年度作成・公表する予定の浸水想定区域図をもとに、今後本市において洪水ハザードマップの作成に取りかかることといたしております。

また、土砂災害ハザードマップにつきましては、石川県が平成16年度より土砂災害危険箇所の調査を行っており、この調査の完了を待って土砂災害ハザードマップを作成したいと考えております。

以上でございます。